

PET診療 利点を説明

市民健康セミナー

【佐野】がんの早期発見などをテーマにした市民健康セミナーが7日、佐野商工会議所で開かれ、画像診断を

専門とする宇都宮セントラルクリニック（宇都宮市屋板町）の佐藤俊彦医師が、ポジトロン断層法（PET）診療の特徴などを語った。

PETはコンピューターによる断層撮影技術。がん細胞がブドウ糖を多く取り込むことを利用しているという。

佐藤医師は参加者約40人を前に、PETの活用で悪性、良性などがんの性質が細かく分かり、不要な手術や抗

がん前治療を避け、最適な治療法につなげられることを強調。

コンピュータ断層撮影（CT）や核磁気共鳴画像法（MRI）と組み合わせた肺や前立腺がんなどの治療実例を説明した。

患者個人の医療を総合的にコーディネートする「顧問医」の必要性を指摘し、医療機関や画像診断センターとのネットワーク強化による検診体制や予防医療の充実も訴えた。



画像診断の利点を説明する佐藤医師